

プール学院大学短期大学部秘書科プロジェクト

「やまとなでし香」

活動の概要

- ◆ 堺の伝統産業である線香のメーカー「奥野晴明堂」（享保年間創業）社長の指導のもとプール学院オリジナル商品を企画・生産・販売までを体験します。
- ◆ 学生は「やまとなでし香」という仮想の会社をつくり全員がなんらかの役割を担って活動しています。
- ◆ 「学ぶ場所は、教室だけではない！」これがプール学院の考え方です。体験学習の素晴らしさを実現しています。

活動のねらい

- ◆ 堺の地場産業、伝統産業を学ぶ。

堺には古い歴史と文化、産業があります。多くの学生はそのことについて十分な知識を持っていません。自分達の学び舎のある堺について、体験を通じて学ぶことで、次の世代に堺の伝統を伝えることもできます。

奥野社長は、伝統産業を守りながらイノベーションを起し、次の世代にそのバトンを渡そうと日々活動をされています。本学での取組もその高い志と長期的視野から生まれたものです。
- ◆ チームで働くことの意義を学ぶ。
 - ・ チームにおける自分の役割を理解し行動できるようになる。
 - ・ Plan-Do-Check-Act（計画、実行、検証、改善）というPDCAサイクルを学び、実行できるようになる。

社会に出れば、仕事、社会生活すべて2人以上の組織で活動しなければなりません。独りよがりや自己中心的な行動は、結果的に自分に返ってきます。状況をみながら自分の役割を認識し、行動できる。また他人に心配りができる。このような体験を学生時代に多くすることによって、社会人基礎力が身につきます。

さらに職場では、効率・効果を考えた段取りを行い、実行した後はふりかえりを行っています。このような癖を学生時代から身につけておくことが大切です。
- ◆ 顧客満足と利益の意味を知る。働く意味とお金のありがたさを知る。

「働く」ということは経済的な自立を意味していますが、自分の能力が認められないと、それに見合った対価を手に入れることができません。またお客様に喜んでもらうことができなければ、お金を手にはできません。

つまり自分より他人の喜びを意識し、それが実現したとき、自分の喜びも実現する。他人に喜んでもらうためにがんばり、その成果として利益がでる。このような考え方が奥野社長と協働することで身につきます。

活動内容



奥野晴明堂社長による線香の授業



商品企画会議



工場生産



箱詰め作業



ゆかたで販売

プールの学生がつくったオリジナルの香をお楽しみください！